令和3年度　事務事業評価調書	施策名	野生動物等の適正な管理	施策コード	03021

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④宮口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【見直し状況(F)(J)(M)】
①　対応済
②　今回見直しを検討
－　対応が不要

【見直し結果（S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で①②今回見直しを検討を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	令和3年度 執行体制 前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価意見への対応状況
0514			一般	生物多様性保全推進事業費	②	北海道における生物多様性保全に係る取組を推進する業務 生物の多様性の保全等に関する条例に基づく絶滅のおそれのある野生動植物の保護対策のための業務 外来種による本道の生態系への悪影響を防止するために行う検討会等の業務	自然環境課	0	9,490	8,235	3.2	3.9	7.1	64,941		現状維持	国と連携した国内希少野生動植物種の保護対策、条例指定種の生育状況モニタリング、多様な主体を巻き込む外来種対策、現時点では次年度も継続的な取組が想定されているため。	○	④	②	検討会等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	－	⑦	②	検討会等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	②	参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討するほか、参加者間の距離を十分に取る等により対応する。			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、一部をオンラインにより開催することとしており、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
0515			一般	動物愛護管理対策推進費	②	動物愛護法等に基づき、動物の適正な飼養及び取扱いの推進に関する業務	自然環境課		15,190	10,333	1.6	21.1	22.7	192,477		現状維持	引き続き、人と動物とが共生する社会づくりを進めるため、事業を継続する。	－	④	②	検討会等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	－	⑦	②	検討会等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	②	参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討するほか、参加者間の距離を十分に取る等により対応する。			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、R4年度にオンライン化で調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
0516			一般	鳥獣保護対策推進費	②	鳥獣保護法に基づく適正な野生鳥獣の保護管理のための業務	自然環境課		1,119	1,119	0.7	2.9	3.6	29,235		現状維持	引き続き、鳥獣保護管理事業計画の適正な執行を図るため、事業を継続する。	○	④	②	会議等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	－	⑦	②	検討会等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	②	参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討するほか、参加者間の距離を十分に取る等により対応する。			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、R4年度にオンライン化で調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
0517			一般	鳥獣保護対策推進費（アザラシ分）	②	漁業被害の軽減とアザラシ類の共存のため、定数個体の削減、有効な捕獲手法の確立など、アザラシ類の適正な個体数管理を推進するための業務	自然環境課		5,455	0	0.9	0.0	0.9	12,484		現状維持	引き続き、漁業被害の軽減とアザラシ類との共存のため、北海道アザラシ管理計画に基づき、事業を継続する。	○	④	②	会議等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	－	⑦	②	検討会等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	②	参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討するほか、参加者間の距離を十分に取る等により対応する。			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、R4年度にオンライン化で調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
0518			一般	ヒグマ対策推進費	②	ヒグマによるあつれきの軽減及びヒグマ地域個体群の存続の両立を図るため、適正なヒグマ保護管理を推進するための業務	自然環境課		5,497	968	1.3	4.9	6.2	53,919		拡充	近年、ヒグマとのあつれきが増大しており、現在の事業の継続に加え、現場で対応にあたる市町村職員等への支援を拡充する必要があるため。	○	④	②	会議等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	－	⑦	②	会議等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	②	参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討するほか、参加者間の距離を十分に取る等により対応する。			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	拡充		○	○	○	会議等について、R4年度にオンライン化で調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
0519			一般	市街地周辺ヒグマ出没対策事業費	②	市街地周辺におけるヒグマ対策に必要な危機管理体制に構築を図るため、地域における総合的なヒグマの保護管理を推進するための業務	自然環境課		14,000	7,000	0.9	0.7	1.6	26,496		終了	今年度までの事業の実績を踏まえ、より効果的な市街地出没対策の構築及びヒグマの生息状況調査を行う必要があるため、事業の再構築を検討する。	－	④	②	会議等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	⑦	②	会議等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	②	参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討するほか、参加者間の距離を十分に取る等により対応する。			・北海道Society5.0を推進し、安全・安心で豊かな生活を送ることができる社会を実現するため、モデル事業の検証を実施し事業の再構築を検討するなど、取組の一層の推進を検討すること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了		○	○	○	・ヒグマの市街地出没対策を推進するため、モデル事業で実施した検討検証の成果等をはじめ、今後実施予定のICTを活用した出没経路の抽出技術の検討検証事業との組み合わせによる成果を市町村等に情報提供し普及を促進する。 ・会議等について、R4年度にオンライン化で調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
0520			一般	高病原性鳥インフルエンザ対策事業費	②	道内の野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染防止を図るため、関係機関と連携した渡り鳥の飛来状況調査、死亡野鳥の回収・検査を実施	自然環境課		1,588	1,588	0.3	0.9	1.2	10,960		現状維持	R2シーズンは北海道内の死亡野鳥、野鳥糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出。全国では家禽農場で複数の発生があり、今後も野鳥の監視体制は必須である。	－	④	②	打合せ等について、オンラインに対応できればWEB開催を検討する。	－	⑦	②	打合せ等について、オンラインに対応できればWEB開催を検討する。	○	②	打合せ等について、オンラインに対応できればWEB開催を検討する。			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、R4年度にオンライン化で調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
0521			一般	狩猟免許事務費		狩猟免許試験、狩猟免許更新時講習及び狩猟者登録の係る業務 狩猟者による事故の未然防止のための指導・取締りに関する業務	自然環境課		22,112	0	0.6	9.8	10.4	103,336		現状維持	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、狩猟免許試験・更新、狩猟者登録の事務を行うと共に、安全狩猟に向けた指導及び取り締まりを実施する。															会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持					会議等について、R4年度にオンライン化で調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
	1		一般	狩猟免許事務費	②				21,628	0								－	④	②	打合せ等について、オンラインに対応できればWEB開催を検討する。	－	⑦	②	打合せ等について、オンラインに対応できればWEB開催を検討する。	○	②	打合せ等について、オンラインに対応できればWEB開催を検討する。						○	○	○	
	2		人件費	狩猟者登録事務	－				484	0																													
0522			一般	捕獲従事者育成等事業費	②	安定的なエゾシカ捕獲体制を維持するため、認定鳥獣捕獲等事業者を活用した捕獲研修等を行い、捕獲従事者の育成等を推進	自然環境課		2,155	0	1.1	0.0	1.1	10,746		現状維持	エゾシカ捕獲体制維持のため、地域における捕獲従事者の育成を図る必要がある。	－	④	②	打合せ等について、オンラインに対応できればWEB開催を検討する。	－	⑦	②	打合せ等について、オンラインに対応できればWEB開催を検討する。	○	②	一会場あたりの入場人数を制限を検討する。			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	統合		○	○	○	会議等について、R4年度にオンライン化で調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
0523			一般	エゾシカ対策推進事業費（エゾシカ対策推進費）	②	エゾシカの被害低減を図るため、エゾシカ管理計画（第5期）に基づき、エゾシカの個体数の適正管理を行う（有識者会議の開催、ライトセンサス調査等）とともに、次期エゾシカ管理計画（第6期）を策定する	自然環境課		11,373	11,373	1.1	4.9	6.0	58,233	①②	改善（指標分析）	国・道有林における狩猟安全対策としての入林規制や新型コロナウイルスの影響により捕獲数が減少、エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。															人と自然の共生を基本とした自然環境の保全を図るため、増えすぎたエゾシカの適正な管理は重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。				エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。
	1		一般	エゾシカ対策協議会	②				86									○	④	①	電子媒体により業務連絡等を行うことで対応済み。	－	⑥⑦	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。	○	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。									
	2		一般	エゾシカ管理計画の推進	②				1,186									○	④	①	有識者会議について、既にオンライン開催により対応済み。	－	⑦	①	有識者会議について、既にオンライン開催により対応済み。	○	①	有識者会議について、既にオンライン開催により対応済み。									
	3		一般	調査研究	②				9,831									○	④	①	電子媒体により業務連絡等を行うことで対応済み。	－	⑥⑦	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。	○	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。									
	4		一般	狩猟の適正管理	②				270									○	④	①	電子媒体により業務連絡等を行うことで対応済み。	－	⑥⑦	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。	○	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。									
0524			事務	狩猟及び有害駆除の促進に係る事務	②	鳥獣保護法に基づくエゾシカ個体数の適正管理のための業務 ・鳥獣法運用　・エゾシカ狩規制　・適正捕獲普及啓発　・捕獲上積みのための市町村捕獲事業への助成 ・各振興局に配置した対策チームによる地域支援を行う事業	自然環境課		0	0	1.6	8.1	9.7	75,757	①②	改善（指標分析）	国・道有林における狩猟安全対策としての入林規制や新型コロナウイルスの影響により捕獲数が減少、エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。	－	④	①	電子媒体により業務連絡等を行うことで対応済み。	－	⑥⑦	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。	○	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。			人と自然の共生を基本とした自然環境の保全を図るため、増えすぎたエゾシカの適正な管理は重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。				エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。
0525			事務	エゾシカの有効活用に関する事務	②	エゾシカ肉の消費拡大を図る「シカの日」の定着促進や食肉以外の部位の利活用など、エゾシカ捕獲後の有効活用を推進	自然環境課		0	0	1.5	0.7	2.2	17,182	③	改善（取組分析）	安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大のため、認証施設数の増加を図り、家庭・レストランにおけるエゾシカ肉の利活用機会の拡大を推進する。	－	④	①	電子媒体により業務連絡等を行うことで対応済み。	－	⑦	①	電子媒体により業務を行うことで対応済み。	○	①	パネル展などコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを図った。				改善	安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大のため、認証施設数の増加を図り、家庭・レストランにおけるエゾシカ肉の利活用機会の拡大を推進する。				
0526			一般	エゾシカ対策推進事業費（エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業費）	⑥	北海道エゾシカ管理計画（第5期）目標達成のため、道指定鳥獣保護区等において関係機関と連携した捕獲事業等を実施する	自然環境課		71,096	27,136	0.9	2.3	3.2	96,088	①②	改善（指標分析）	国・道有林における狩猟安全対策としての入林規制や新型コロナウイルスの影響により捕獲数が減少、エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。	－	③⑤	①	事業実施要領等により、再生紙の使用や電気自動車の導入など、二酸化炭素排出削減に努めるよう規定されている。	－	⑥	①	ICTを活用した捕獲を実施しており対応済み	○	①	ICTの活用により接触機会の低減を図った。			人と自然の共生を基本とした自然環境の保全を図るため、増えすぎたエゾシカの適正な管理は重要であり、取組の一層の推進を検討すること。	改善	エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。				エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。

【見直し区分】
①普及啓発 ②会議等 ③調査業務 ④窓口業務等
⑤施設整備・維持等 ⑥委託業務 ⑦補助事業 ⑧その他

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進 ②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進 ④3Rの推進による廃棄物の削減 ⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
① 対応済
② 今回見直しを検討
ー 対応が不要

【見直し結果(S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で「②今回見直しを検討」を選択した検討結果
○見直し対応 △検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	令和3年度 前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	執行体制 うち一般財源	本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
0527			一般	エゾシカ対策推進事業費（エゾシカわなICT捕獲管理体制実証事業費）	③	エゾシカの捕獲対策を推進するため、ICTの活用によるくくりわなの捕獲管理体制の省力化について検証を行い、道内におけるICT活用モデルを構築する	自然環境課		4,614	0	0.4	0.0	0.4	7,738	①②	改善（指標分析）	国・道有林におけるヒグマ等の狩猟安全対策としての入林規制や新型コロナウイルスの影響により捕獲数が減少、エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。	ー	⑤	①	エゾシカの捕獲対策を推進するため、ICTの活用によるくくりわなの捕獲管理体制の省力化について検証を行っている。	○	⑥	①	エゾシカの捕獲対策を推進するため、ICTの活用により接触機会の低減を行っている。	○	①	エゾシカの捕獲対策を推進するため、ICTの活用により接触機会の低減を行っている。			・人と自然の共生を基本とした自然環境の保全を図るため、増えすぎたエゾシカの適正な管理は重要であり、取組の一層の推進を検討すること。 ・北海道Society5.0を推進し、安全・安心で豊かな生活を送ることができる社会を実現するため、モデル事業の検証を実施し事業の再構築を検討するなど、取組の一層の推進を検討すること。	統合	新規重点事業（エゾシカ捕獲困難地対策事業）へ				・エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、指標の達成に向けた取組を推進する。 ・エゾシカの捕獲対策を推進するため、ICTの活用によるくくりわなの捕獲管理体制の省力効果について市町村や農業者等に情報提供を行い普及を促進する。
0528			一般	エゾシカ対策推進事業費（エゾシカ有効活用推進事業費）	④	認証制度の運用や認証取得の推進、家庭、レストラン及び革製品等の様々な場面におけるエゾシカの利活用機会拡大	自然環境課		6,808	0	0.2	0.0	0.2	8,370	③	改善（指標分析）	エゾシカ肉処理の認証施設数については、認証アドバイザー派遣などの取組により、前年より施設数が増加した。安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大を図るため、認証施設数の増加を推進する。	ー	④	①	エゾシカ肉処理施設認証制度における申請については、ペーパーレス化し、対応済み。	ー	⑥	①	エゾシカ肉処理施設認証制度における申請については、ペーパーレス化し、対応済み。	○	①	家庭やレストランなどへの利用拡大に係る事業は、コロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを図った。				改善	安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大のため、認証施設数の増加を図り、家庭・レストランにおけるエゾシカ肉の利活用機会の拡大を推進する。				
0529			一般	地方創生推進費（「稼ぐジビエ」マーケティングモデル創出事業費）	①	安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大を図るため、認証施設の強みを活かした事業展開及びブランディングに向けた取組を実施	自然環境課		10,085	5,043	0.8	0.0	0.8	16,333	③	改善（指標分析）	エゾシカ肉処理の認証施設数については、認証アドバイザー派遣などの取組により、前年より施設数が増加した。安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大を図るため、認証施設数の増加を推進する。	ー	④	①	事前・事後学習をオンラインで開催するなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを図った。	ー	⑥	①	事前・事後学習をオンラインで開催するなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを図った。	○	①	事前・事後学習をオンラインで開催するなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを図った。				改善	安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大のため、認証施設数の増加を図り、家庭・レストランにおけるエゾシカ肉の利活用機会の拡大を推進する。				
0530			一般	エゾシカ対策推進事業費（エゾシカジビエ利用拡大推進等事業費）	②	エゾシカジビエの利用拡大を図るため、捕獲個体の食肉処理施設への搬入経費等の支援を実施	自然環境課		121,000	0	0.9	0.0	0.9	128,029	③	改善（取組分析）	エゾシカジビエの利用拡大とエゾシカの捕獲強化を図るため、処理施設等への搬入経費等の支援を推進する。	ー	④	①	事業実施にあたっての打合せをオンラインにより実施し対応済み。	ー	⑥	①	事業実施にあたっての打合せをオンラインにより実施し対応済み。	○	①	事業実施にあたっての打合せをオンラインにより実施し対応済み。				改善	安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大のため、認証施設数の増加を図り、家庭・レストランにおけるエゾシカ肉の利活用機会の拡大を推進する。				
0531			一般	アライグマ根絶モデル実証事業費		近年アライグマの生息地拡大に伴い農業被害等が増加しているため、モデル地域においてICT活用による捕獲を実施、効率的な捕獲プログラムを作成	自然環境課	0	13,792	10,792	0.5	0.0	0.5	17,697		現状維持	令和2～4年度はモデル地域における捕獲を通じデータ収集・検証を実施。それを踏まえたアライグマ捕獲プログラムは令和4年度策定し、次年度からそれに基づく捕獲促進を目指す。															・北海道Society5.0を推進し、安全・安心で豊かな生活を送ることができる社会を実現するため、モデル事業の検証を実施し事業の再構築を検討するなど、取組の一層の推進を検討すること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持					・これまで収集した捕獲データを基に、効果的・効率的な捕獲方法を検証し、アライグマの根絶に向けた年間捕獲プログラムの策定に取り組む。 ・会議等について、R4年度にオンラインなどで調整しているところであり、今後、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
	1		一般	令和3年度アライグマ根絶モデル実証事業委託業務	③		自然環境課		12,861	9,861								ー	④	①	現在は捕獲データを収集中。今後それらのデータを検証し令和4年度に捕獲プログラムを策定。	○	⑦	①	現在は捕獲データを収集中。今後それらのデータを検証し令和4年度に捕獲プログラムを策定。	○	①	現在は捕獲データを収集中。今後それらのデータを検証し令和4年度に捕獲プログラムを策定。ICTの活用により接触機会の低減を行っている。										
	2		一般	アライグマ根絶モデル実証事業分析等委託業務	③		自然環境課		800	800								ー	④	①	ICTを活用した捕獲方法等の分析を実施し、令和4年度に策定する捕獲プログラムへ反映させる。	○	⑦	①	ICTを活用した捕獲方法等の分析を実施し、令和4年度に策定する捕獲プログラムへ反映させる。	○	①	ICTを活用した捕獲方法等の分析により接触機会の低減を行っている。										
	3		一般	アライグマ根絶モデル実証事業捕獲連携協議会	②		自然環境課		131	131								ー	④	②	会議等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	⑦	②	会議等について、参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討する（一部オンライン参加を含む）。	○	②	参加者がオンラインに対応できればWEB開催を検討するほか、参加者間の距離を十分に取る等により対応する。						○	○	○	
計								0	315,374	83,587	18.5	60.2	78.7																									

■令和４年度　新規事業

ICTを活用したヒグマに強い地域づくり実証モデル事業費、エゾシカ対策推進事業費（エゾシカ捕獲困難地対策事業）